

企業紹介冊子 第3弾

ふくい青年中央会 会員間の周知さらに



県内組合青年部などを紹介した県中小企業団体青年中央会の冊子

県中小企業団体青年中央会（ふくい青年中央会）はこのほど、加盟組合青年部や会員企業を紹介した冊子第3弾「どうせ買うなら、こちらからどうぞ！」を作製した。県内最大の異業種交流組織である強みを生かして内需拡大のほか、青年部同士の周知徹底を図り、活動の底上げを目指す。

同会は36業種の組合青年部で構成し、会員事業所は約800社。カタログや交流会を通じ会員同士のビジネスを促進する「どうせ買うなら運動」は、スタートから3年間で取引額が総額1億円に上り、全国の組合青年部からも注目が集まっている。

A 4判の冊子には、これまで希望企業のPR情報をまとめていたが、今回は加盟する全36組合青年部のリストと活動内容を掲載。同会の寺本光宏会長（寺本鉄工社長）は「組合同士の多角的な連携に向け、どのような業種が加盟しているかあらためて知ってもらおう」と狙いを話す。このほか各組合から3社程度の連絡先やイチ押しの商品・サービスを掲載している。

一方、寺本会長は「冊子を生かすには、交流の仕掛けが不可欠」と指摘。全組合が参加する「ふくい青中まつり」やスポーツ事業、メーリングリストの配信などで積極的に組合間の交流を促進している。「後継者育成などの観点からも組合をなくしてはいけない。活動を全青年部に周知しながら、組合に加盟するメリットを提供していきたい」と話している。